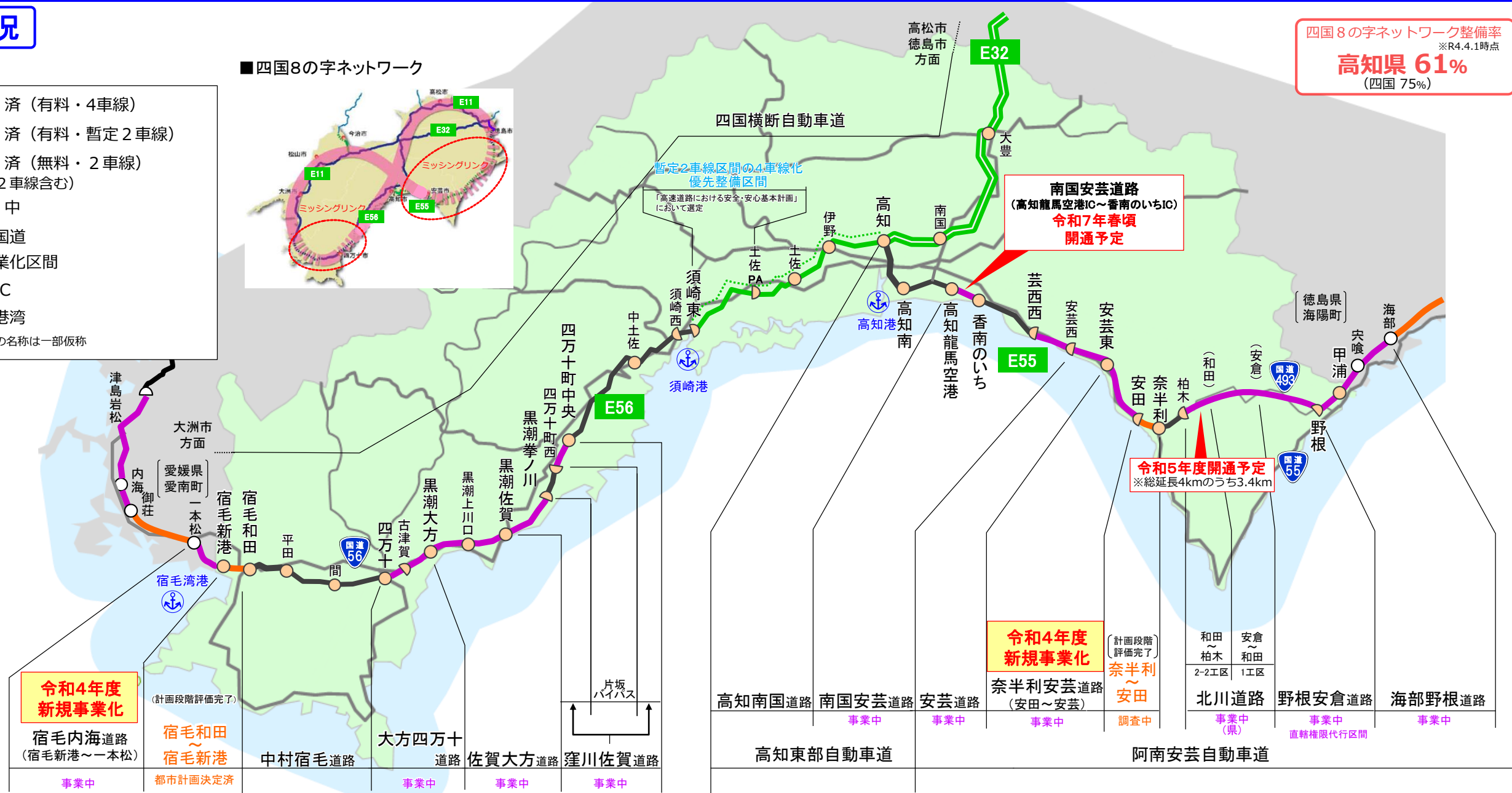


整備状況

凡例

- 四国8の字ネットワーク
- 凡例
- 開通済 (有料・4車線)
- 開通済 (有料・暫定2車線)
- 開通済 (無料・2車線) (暫定2車線含む)
- 事業中
- 一般国道
- 未事業化区間
- 主なIC
- 重要港湾
- ※事業中区間のICの名称は一部仮称

四国8の字ネットワーク整備率  
※R4.4.1時点  
**高知県 61%**  
(四国 75%)



安全・安心な暮らしを支え、地域経済の活性化に不可欠な四国8の字ネットワークの整備は急務

1 事業中箇所の早期開通

- 四国横断自動車道: 窪川佐賀道路、佐賀大方道路、大方四万十道路  
宿毛内海道路 (宿毛新港～一本松)
- 高知東部自動車道: 南国安芸道路 (高知龍馬空港～香南のいち、芸西西～安芸西)
- 阿南安芸自動車道: 海部野根道路、野根安倉道路(直轄権限代行)、  
奈半利安芸道路 (安田～安芸)、安芸道路  
北川道路1工区及び北川道路2-2工区(補助事業費の確保)

2 計画段階評価完了区間の早期事業化

- 四国横断自動車道: 宿毛和田～宿毛新港
- 阿南安芸自動車道: 奈半利～安田

3 「高速道路における安全・安心基本計画」に基づく暫定2車線区間の4車線化の着実な実施

- 高知自動車道: 土佐PA～須崎東

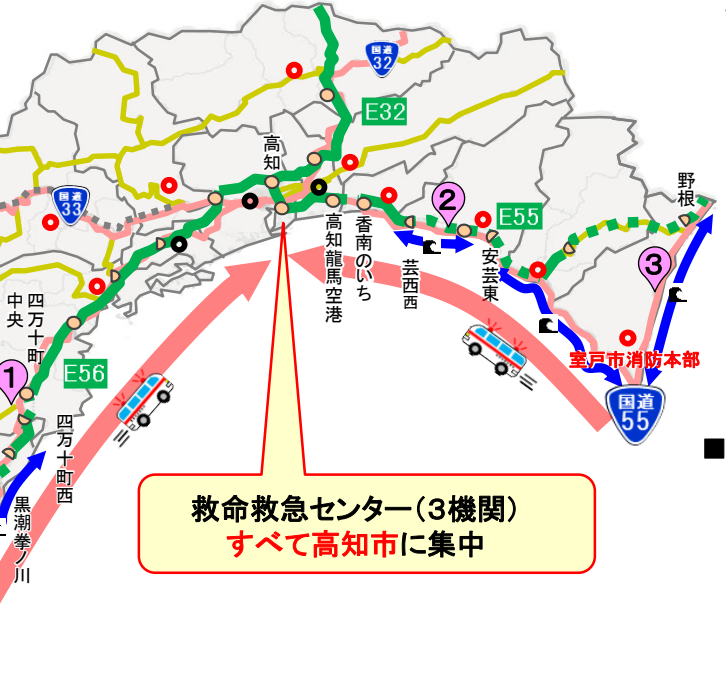
切迫度の高まる南海トラフ地震に備えるためにも、  
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等によるミッシングリンク解消、ダブルネットワーク構築が不可欠

# 四国8の字ネットワークの整備促進【安全・安心な暮らしを支える！】

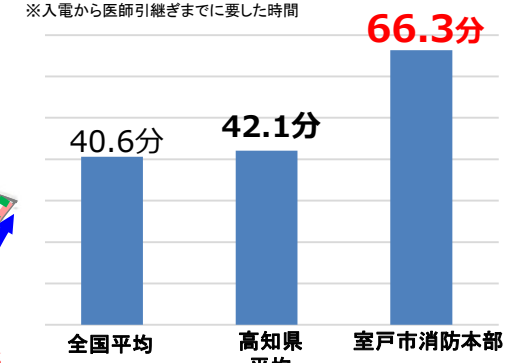
## 四国8の字ネットワークは「県内の救急搬送を支える」命の道

### ●救急搬送の実績(令和2年)

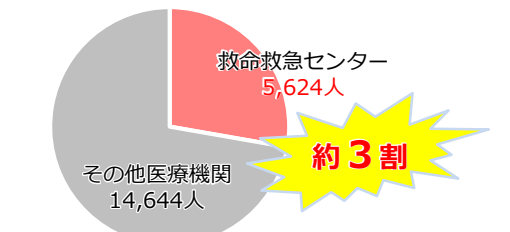
- 8の字ネットワーク(整備済区間)
- 8の字ネットワーク(未整備区間)
- 直轄国道
- 補助国道
- 津波浸水想定区間
- 8の字ミッシングリンク区間
- 消防本部等
- 消防本部等
- 主なIC



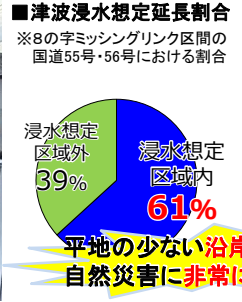
### ■令和2年の病院収容所要時間



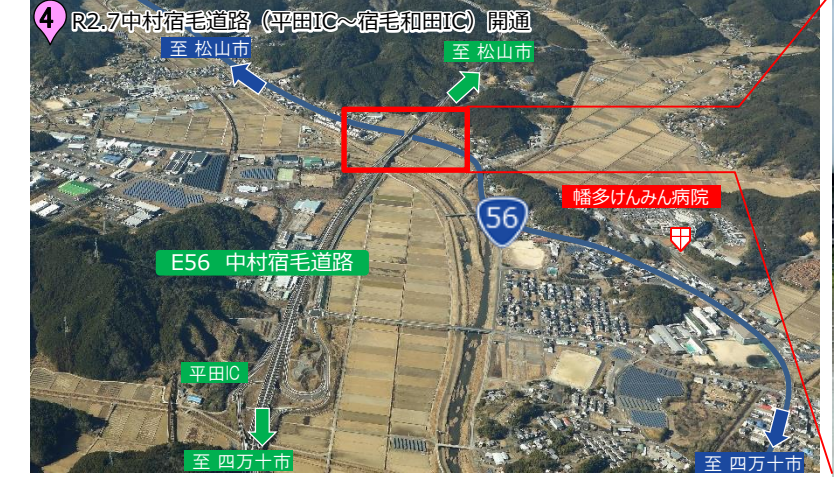
### ■令和2年の救急搬送人員(高知市除く)



### ●県内の救急搬送を支える国道55号・56号の課題



### ●8の字整備による効果(リダンダンシーの確保)



### 中村宿毛道路により路面冠水箇所を回避



出典：国土交通省中村河川国道事務所提供資料

**8の字整備** ダブルネットワーク構築によりリダンダンシーを確保し地域間交通を維持することで県内の救急搬送を支える

## 被災から明らかとなった4車線化の重要性「災害への備えを高める」

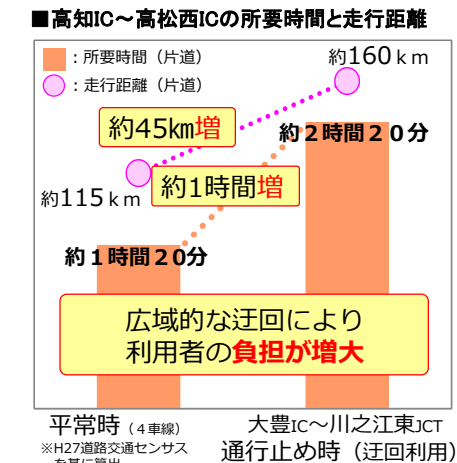
### ●【被災】平成30年7月7日 高知自動車道「立川橋」の流失



### ●【6日後】平成30年7月13日 対面通行による通行再開



### ●【約1年後】令和元年7月8日 4車線による通行再開

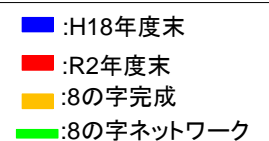


**4車線化** 通行を確保したうえでの早期の全面復旧作業につながる。早期の通行再開で、広域的な迂回を回避し、利用の負担を軽減

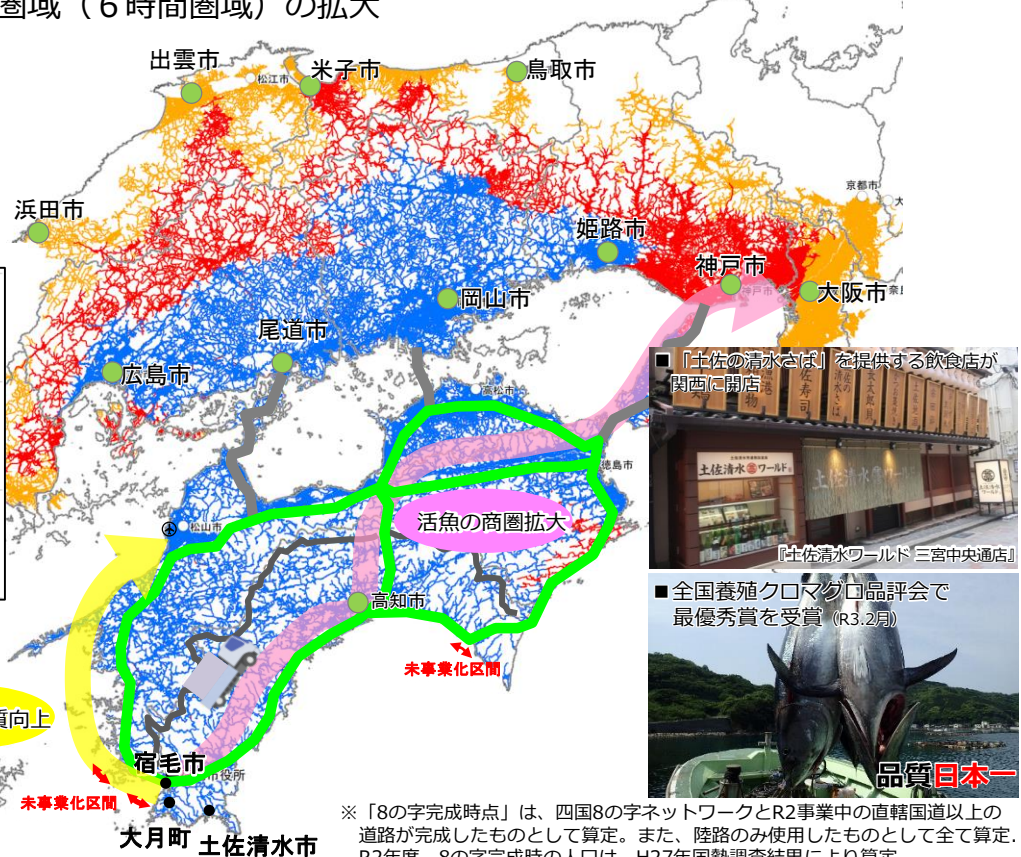
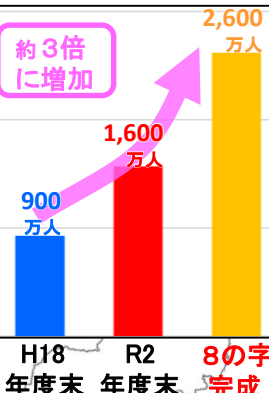
消費圏拡大 関西などの大規模消費圏への輸送を支える

■宿毛市からの消費圏域（6時間圏域）の拡大

●消費圏域の変化



●消費圏域人口の推移

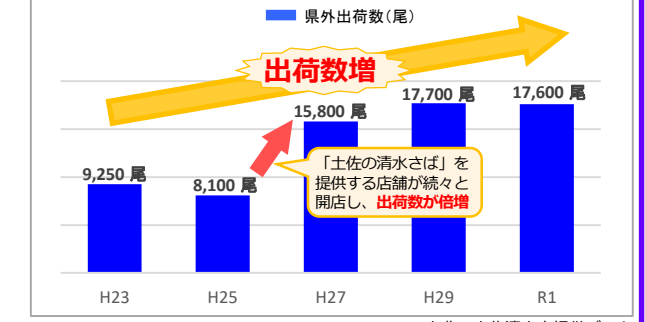


活魚

●遠方への活魚輸送に不可欠な高速道路 (高知自動車道)

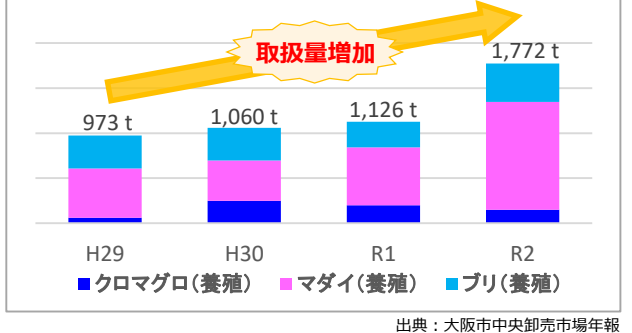


●「土佐の清水さば」の県外出荷数の推移



養殖魚

●県産養殖魚取扱量の増加 (大阪市中央卸売市場)



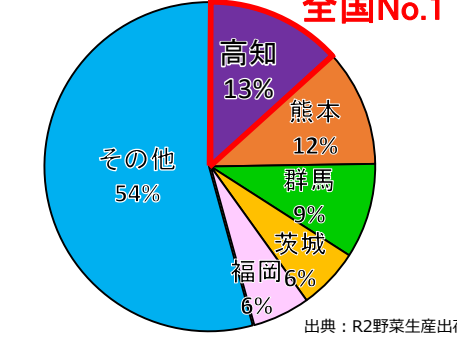
●産地加工体制の強化による生産性の向上 (宿毛市)



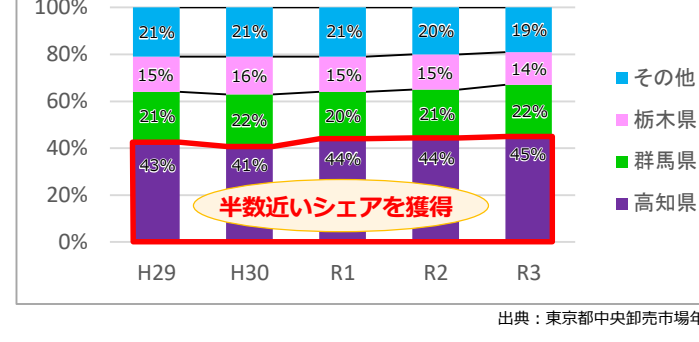
生産拡大 地域の特産物の生産拡大・販路拡大を支える

■県東部地域の基幹産業を支える

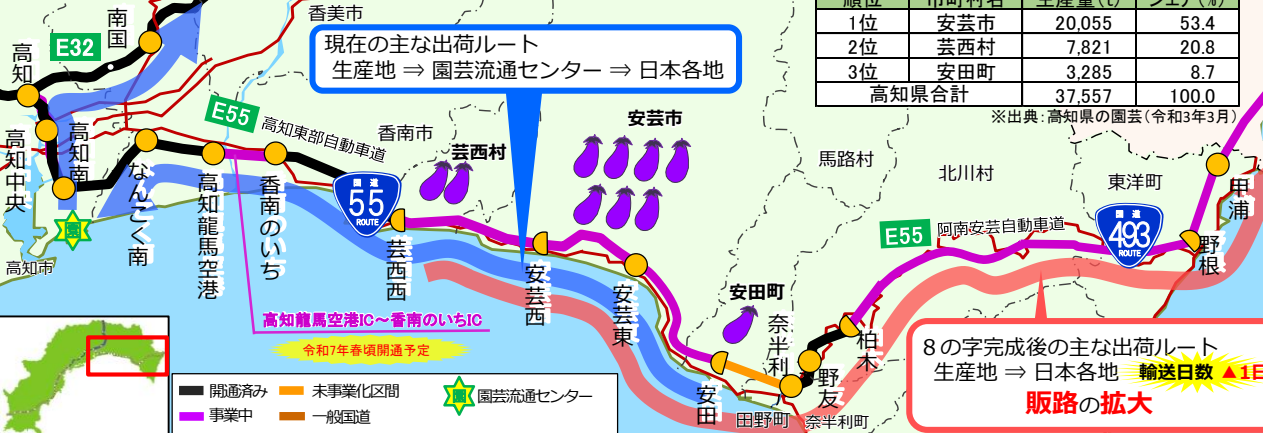
●全国における高知県産ナスの生産量シェア



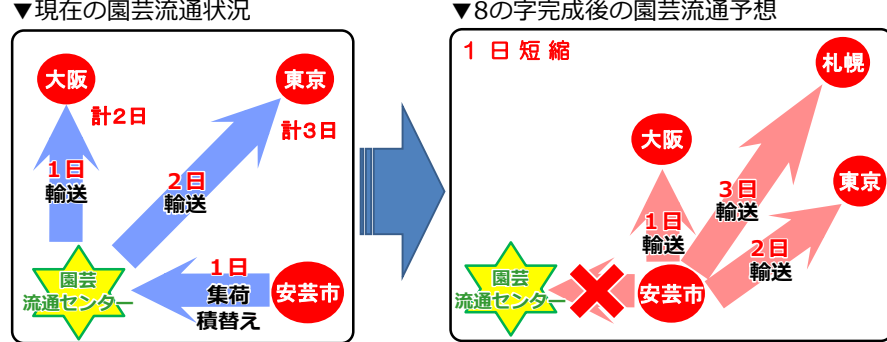
●東京都中央卸売市場における高知県産ナスの取扱量シェア



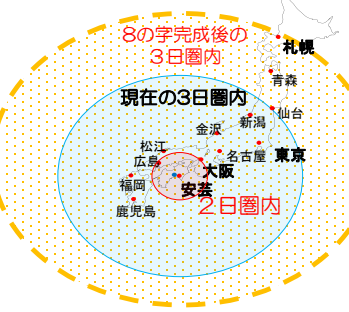
●生産地からの主な出荷ルート



●8の字ネットワーク整備による輸送路の見直し



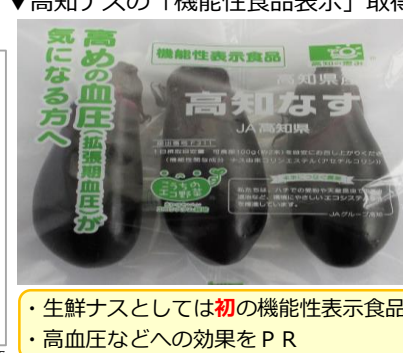
▼販路拡大イメージ図



●生産性向上に向けた取り組み



●需要拡大に向けた取り組み



高知県の観光 ウィズコロナ、アフターコロナの観光振興を支える



県出身偉人のTVドラマ化で観光振興を後押し

**牧野 富太郎 (1862-1957)**  
【主な功績】  
◆「植物学雑誌」を創刊  
→新種に学名付与(日本人国内初)  
◆1,500種類以上の植物を命名  
◆「牧野日本植物図鑑」を刊行  
◆文化勲章受章 など

R5年度前期 NHK連続テレビ小説制作決定

基本コンセプト  
「植物が中心にある町」  
年間目標入込数 **40万人**  
R5.5 OPEN予定

高知県出身の植物学者 **牧野 富太郎**

経済力が高まる関西圏との経済連携強化

大規模プロジェクトに向けて **高まる関西圏の経済活力**

◆R7大阪・関西万博  
想定来場者数: 2,820万人

◆大阪IR  
想定年間来場者数: 1,500万人

周遊モデルルートの旅行商品化  
SDGsに寄与する旅行商品づくり など

**本県への誘客促進**

関西圏からの入込数

R2	77万人
R5目標	121万人

※出典: 高知県観光政策課推計

高知県立牧野植物園

★ 3,000種以上の植物が四季を彩る 四国唯一の植物園(1958~)

▼施設の磨き上げ整備

イメージ  
4K・VR映像、お宝展示  
R1年リニューアル

イメージ  
新研究棟  
R5年春オープン予定

高知市五台山

入込数目標  
20万人  
11.5万人  
R2 → R6目標

435万人観光の定常化と地域への誘客拡大に向けた取り組み

■高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」を開催中

高知の食は、つくる人が熱々。人熱々料理

高知県では「食」の観光キャンペーンを開催中！  
山川海の幸の味が美味しいのはもちろん、なによりも食に関わる人たちが熱々！

【開催期間】  
令和4年1月1日(土) ~ 令和5年3月31日(木)

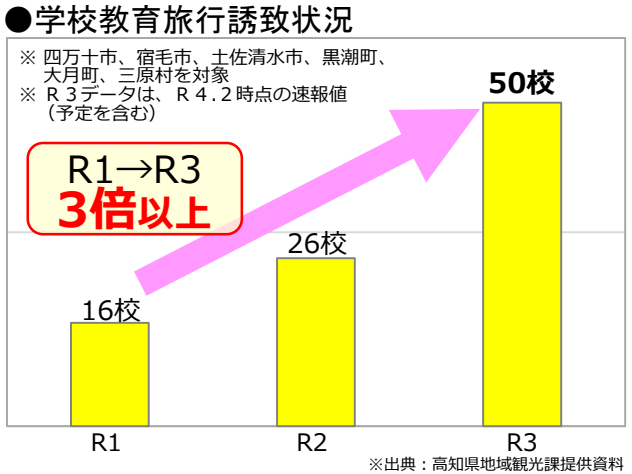
学校教育旅行の誘致拡大 ~西部地域の事例~

1 砂浜のマイクロプラスチックなど漂着物を調査学習  
大月町柏島

2 トンボを通じて自然と人との共生のかたちを考える(トンボ自然公園)  
世界初のトンボ保護区  
四万十市具同

3 足摺地域の生態系を見学(県立足摺海洋館SATOUMI)  
R2.7 OPEN  
土佐清水市三崎

4 地層や海底生物の痕跡、マグマ活動について学習(土佐清水ジオパーク)  
R3.9.25 日本ジオパーク認定  
土佐清水市竜串

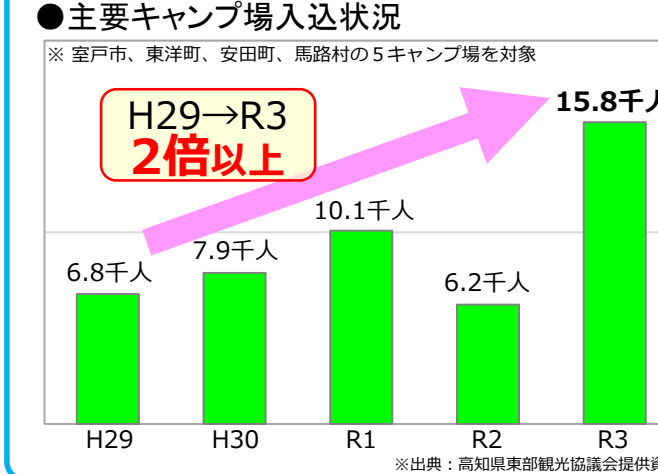


自然体験・滞在型観光の誘客拡大 ~東部地域の事例~

5 アウトドアブランド監修のもとキャンプ場をリニューアル(安田川アコおどる清流キャンプ場)  
Coleman 監修! R3.4 RENEWAL  
安田町船倉

6 サーフィンの聖地東洋町でのキャンプ利用が好調(白浜キャンプ場)  
東洋町白浜

7 世界ジオパークを間近に感じるグランピング施設が新たに整備(MUROTO base55)  
R2.2 OPEN  
室戸市室津



●体験型水産観光商品の開発(室戸市)

県が観光商品の開発をバックアップ!

ガラリマン漁師による水揚げ体験  
深海生物漁業体験ツアー  
オオグソクムシ  
ピン玉  
室戸クルージング  
「ピン玉」ネットのロープワーク体験

体験観光を多数開催!